追分線		
三川～追分	9.5km	昭27・10・10開業
本安平～登川	33.0	昭31・10・10
長沼東線		
西長沼～東町	14.0	昭33・6・10
長恵線		
東町～漁	19.9	昭24・3・15
下山口～島松	4.8	昭26・8・18
東舞鶴～大学橋	4.7	昭32・2・10
上山口～恵庭	4.0	昭32・11・20
中恵庭～北島松校前～下島松	14.0	昭35・11・5
大学橋～南長都	2.2	昭37・12・21
古山線		
長勝寺前～古山	9.2	昭30・9・5
古山～多良津	5.1	昭32・5・18
長沼南線		
水の里～中央長沼	8.7	昭33・6・10

本路線は昭和33・12・10長広線を改称した。

2　営業範囲

旅客・手小荷物と線内相互発着貨物の取扱いをしている。

3　使　命

長沼地区の開拓を促進し，交通に恵まれない長沼および広島周辺の町村と札幌とを直結し，鉄道の短絡を使命としている。

4　特　長

路線のほとんどが石狩平野を走っているので沿線の住民は農家が多く，利用客は農民および，通勤・通学の旅客輸送が主体で，現在では特に長沼本線の道路は舗装され，札幌と長沼市街の利用客が年々増加している。

なお，冬期は積雪が多いので，除雪を行ない運行を確保しているが一部運休する路線もある。　（河原塚　仁平）

なかみがわひこじろう　中上川彦次郎　安政1・8・13豊前国中津藩(大分県)，中上川才蔵の子に生まれ，母は福沢諭吉の姉，阿婉である。慶応2年朱子派の儒者，手島物斉に就いて漢学を修めた。明治元年14才のとき，藩校進修館の講師にあげられ，翌年砲術修業の願いを許され，大阪に出て山口良蔵に英語を学び，次いで東京に上り，福沢邸に寄寓して慶応義塾に入学した。明治7年外遊，ロンドンのモルトピー邸に寄寓し，外遊中の井上　馨と親交を結び，明治11年招かれて工部省に入り，御用掛となったが，翌年井上　馨に従って外務省に転じ，公信局長兼条約改正局副長になる。のち官を辞し，明治15年福沢諭吉が時事新報を創刊するや，入って社長となり，経営に当たった。

明治21年山陽鉄道会社が創立されると，当時33才の壮年であったが，井上　馨と藤田伝三郎の推薦によって創立委員総代となり，会社設立後社長に選ばれた。会社が当初計画した線区は，神戸・姫路間であったが，のち政府の勧奨によって下関まで延長した。

中上川は民営鉄道としての特色を出すことを主眼として経営に当たったが，たまたま明治23年の恐慌にあい，その積極策が関西出身の重役と対立するに至り，翌24年辞任した。在任中に仕上げた線区は，神戸・尾道間137マイル余であった。

当時，用地の取得については，土地収用法の制定による制度の変革にあい，非常な困難に当面したが，彼は将来を考えて，初めから復線用地買入れの方針を堅持した。工事についても，中国の箱根といわれる船坂越えに，こう配を$\frac{10}{1000}$より急にしなかった。

後年，三井銀行重役の地位にありながら，取締役として山陽鉄道の経営に参加した。山陽鉄道の営業方針は，内海航路との競争により進歩的であったが，初めて食堂車および寝台車を連結したこと，大阪および門司に荷扱所を設けたこと，鉄道会社の直扱いによる貨物の集貨，配達の制度を設けたことは有名である。

明治24年山陽鉄道会社社長を辞し，井上　馨の推薦によって三井銀行理事となり，三井鉱山会社理事・三井物産会社理事・三井呉服店調査委員および三井大元方参事を兼ねた。明治34・10・7麹町永田町の自邸でせい去，青山墓地に葬られた。

（藤川福衛）

なかむらせん　中村線　＊土讃本線窪川駅から土佐佐賀に至る延長営業キロ20.7kmの線。土讃線に属し，線路等級は丙線である。

この線は鉄道敷設法別表105ノ3，高知県窪川付近より中村に至る鉄道の一部で，昭和38・12・18土佐佐賀まで開通したものである。

この線の途中，川奥から分岐して宇和島線江川崎に至る窪江線(建設線名)は，現在工事中であり，また中村からさらに南下，四国西南部を回り宇和島に至る宿毛線(建設線名)も予定されており，これらの線が完成すれば四国西南部循環線が形成されて，資源の開発，観光開発にも役だつものと思われる。

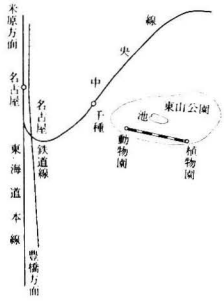
（高橋昌保）

なごやしこうつうきょくきょうりょくかい　名古屋市交通局協力会

1　事業者の概要

名称　社団法人名古屋市交通協力会，本社　名古屋市熱田区沢上町，資本金　10万円，おもな事業　地方鉄道(懸垂式)・遊園地・娯楽施設の経営，鉄道従業員21人，保有車両1。

沿革　昭和24・10・17設立。主として名古屋市交通局の退職者を吸収，遊園地・娯楽施設・食堂・売店の経営，その他交通道徳向上普及を目的とする。



事業の一つに東山公園の子供電車(延長約500m)があったが，老朽化し，補修の時期に達したため，子供電車に替えて懸垂式鉄道を建設することとなった。軌道けたは，三菱重工が建設して市に寄贈し，市から当協力会に無償貸与されたもので，その他車両・電気施設・駅建造物等は協力会の建設によった。

2　地方鉄道線

名古屋市の東山公園にあり，動物園・植物園間470m，単線，垂式（サフェージュ式），動力電気，昭和38・5・8免許。翌年2・8開業。

項目＼年度	昭和38
旅客輸送人員（千人）	87
人キロ（千）	43
旅客収入（千円）	3,699
収入合計（〃）	3,699

3　沿線の観光地

東山動物園・植物園。

なお運輸概況については右の表に示す。　（木川　卓）

なごやせん　名古屋線　名古屋市から愛知県岡崎市に至る国鉄自動車路線であって，所管する名古屋および瀬戸自動車営業所は，名古屋市および瀬戸市にある。

1　区間・キロ程および沿革